

佛教專門學校 成徳常照館之記

本圖書館ハ京都市東山區下河原町貳拾二番地  
上村米子上村里子上村喜代子三氏ノ故上村常  
治郎氏ノ遺志ニ因リテ昭和九年一月二十五日  
浄土宗教育資團ニ寄附セラレタル浄財ヲ以テ  
建設セルモノトス抑モ上村家ハ世々浄土宗ヲ  
信ズルコト篤ク殊ニ先々師大本山清淨華院第  
七十世獅子谷佛定大僧正及ビ先師大本山百萬  
遍知恩寺第六十八世土川善激大僧正ノ勸化ヲ  
蒙ルコト頗ル大ナルモアリ故常治郎氏ハ資  
性温厚寡黙謹嚴ニシテ深ク先師ニ歸依シ生前  
膠漆モ嘗ナラズ而シテ先師ノ一身ヲ宗門育英  
ノ業ニ献ゲ宗學ノ興隆ヲ以ツテ畢生ノ念願ト  
セラレシガ氏亦夙ニ布教傳道ノ世道人心に裨  
益スルトコロ大ナルヲ痛感シ相俱ニ財團法人  
成徳會ノ設立ヲ企圖セラレシガ機縁未ダ熟セ  
ザルニ昭和三年八月二日氏先ゾ他界セラレ次  
イデ昭和五年三月三日先師ノ示寂ニ遭ヘリ爾  
來五星霜余不肖ノ身ヲ以ツテ先師ノ遺命ヲ承  
ケテ上村家ニ出入ス偶々本春一月佛教專門學  
校ハ多年ノ宿願タリシ移轉改築ノ業ヲ達成シ  
テ洛東鹿溪ノ幽邃ヲ後ニシテ洛北築只ノ明媚  
ニ移リ白堊ノ雄姿聳立スルヲ見ルニ至レリ  
然ルニ未ダ圖書館建築ノ議成ラズ宗門最高ノ  
學府トシテ實ニ畫龍轉睛ヲ缺クノ感アリ余亦  
建築委員ノ末端ニ連リテ日夜コレヲ遺憾トセ  
リ  
顧レバ佛教專門學校ハ先師コレガ初代校長ニ  
シテ余ハ其ノ第一回卒業生タリシナリ茲ヲ以  
テ其ノ事由ヲ具シテコレヲ上村家ニ諮リシニ

「佛教專門學校附屬圖書館成徳常照館之記」 木額

佛教專門學校 附屬圖書館 成徳常照館之記

本圖書館ハ京都市東山區下河原町貳拾二番地  
上村米子上村里子上村喜代子三氏ノ故上村常  
治郎氏ノ遺志ニ因リテ昭和九年一月二十五日  
浄土宗教育資團ニ寄附セラレタル浄財ヲ以テ  
建設セルモノトス抑モ上村家ハ世々浄土宗ヲ  
信ズルコト篤ク殊ニ先々師大本山清淨華院第  
七十世獅子谷佛定大僧正及ビ先師大本山百萬  
遍知恩寺第六十八世土川善激大僧正ノ勸化ヲ  
蒙ルコト頗ル大ナルモアリ故常治郎氏ハ資  
性温厚寡黙謹嚴ニシテ深ク先師ニ歸依シ生前  
膠漆モ嘗ナラズ而シテ先師ノ一身ヲ宗門育英  
ノ業ニ献ゲ宗學ノ興隆ヲ以ツテ畢生ノ念願ト  
セラレシガ氏亦夙ニ布教傳道ノ世道人心に裨  
益スルトコロ大ナルヲ痛感シ相俱ニ財團法人  
成徳會ノ設立ヲ企圖セラレシガ機縁未ダ熟セ  
ザルニ昭和三年八月二日氏先ゾ他界セラレ次  
イデ昭和五年三月三日先師ノ示寂ニ遭ヘリ爾  
來五星霜余不肖ノ身ヲ以ツテ先師ノ遺命ヲ承  
ケテ上村家ニ出入ス偶々本春一月佛教專門學  
校ハ多年ノ宿願タリシ移轉改築ノ業ヲ達成シ  
テ洛東鹿溪ノ幽邃ヲ後ニシテ洛北築只ノ明媚  
ニ移リ白堊ノ雄姿聳立スルヲ見ルニ至レリ  
然ルニ未ダ圖書館建築ノ議成ラズ宗門最高ノ  
學府トシテ實ニ畫龍轉睛ヲ缺クノ感アリ余亦  
建築委員ノ末端ニ連リテ日夜コレヲ遺憾トセ  
リ  
未亡人米子遺子里子遺孫喜代子三氏ハ當夏故  
常治郎氏ノ第七回忌正當ニ丁リテ其ノ追福ノ  
爲メニハ故人ノ遺志ヲ體スル最上ノ聖業トシ  
テ圖書館建設資金ノ喜捨ヲ快諾セラレタリ斯  
クシテ本圖書館ノ業ハ忽ニシテ其緒ニ就キ闔  
宗コレヲ欣幸トシ舉學ソノ篤志ニ感激セリ乃  
チ二月十五日浄土宗管長ヨリ佛教專門學校長  
小林瑞淨ヲ建築委員長ニ小林圓達石井龍善江  
藤激英ヲ建築委員ニ任命サレ直ニ其ノ實行ニ  
着手シ四月六日地鎮式ヲ舉行ス超ヘテ六月二  
十七日文部省ノ認可到達シ七月一日工事ヲ開  
始ス而シテ十一月十五日全ク竣工ヲ告ゲタリ  
本圖書館書庫ハ鐵筋混凝土三階建面積六十七  
坪餘閱覽室ハ木造二階建面積五十坪餘ニシ  
テ建築ノ設計監督ハ第三高等學校教授工學士  
八木清之助氏工事請負ハ大阪市松村組社長松  
村雄吉氏現場監督ハ工學士宮川久三氏ナルガ  
京都帝國大學司書藤堂祐範氏ハ亦タ諸般ニ亘リ  
テ盡瘁セラレシトコロ歎カラズ  
今コ、二冠スル所ノ成徳常照館ノ名稱ハ故上  
村常治郎氏竝ニ寄附者タル三氏ノ厚意ヲ記念  
センガタメナリ繕書ノ士專ラ徳器ノ成就ニ努  
メテ智光ヲ常照スルト、モ二本館建設ノ恩徳  
者湛蓮社大僧正靜譽上人見阿珠光善激大和尚  
明信院念譽一心常稱居士竝ニ上村家累代ノ苦  
提増進ノ爲メニ一片ノ回顧ヲ垂ル可キモノナ  
リ  
昭和九年十一月十五日  
和南  
江藤激英謹誌